
九州南部の淡水ガメについて

岡杏花・磯部睦美・間日帆里・亀崎直樹

700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学動物自然史研究室

About freshwater turtles in southern Kyushu.

By Kyouka OKA, Mutsumi ISOBE, Hiori HAZAMA and Naoki KAMEZAKI

Okayama University of Science, 1-1 Ridai-chou, Kita-ku, Okayama 700-005, Japan

中村・亀崎(2018)で南九州市の一部地域にニホンイシガメ *Mauremys japonica* (以下, イシガメ) のみが生息する地域が残されていることが報告された。これを受け, 2021年より現在にかけて薩摩半島全域を対象に淡水ガメ相の捕獲調査を行っている。今回は新たに大隅半島の個体データを加えたので, 経過報告をする。2021・2022年に計4回, 薩摩半島では万之瀬川水系以南を調査対象地域とし, その地域の河川・ため池にカメ捕獲用かご罟を設置した。誘引餌には, 海水魚のアラ等を使用した。また, 薩摩半島の個体と比較するために, 岡山県・熊本県・大隅半島で同じ方法で捕獲調査を行った。九州南部での捕獲調査にて, 薩摩

半島でイシガメ31個体, ミシシッピアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* (以下, アカミミガメ) 4個体, また大隅半島ではイシガメ21個体, アカミミガメ2個体とクサガメ *Mauremys reevesii* 1個体が捕獲された。これにより, 九州南部には外来種が侵入している地域もあることが明らかとなった。しかし侵入地域は限定的であり, ニホンイシガメと同所的に外来種が捕獲されることがなかった。

引用文献

中村優洋・亀崎直樹. 2018. 薩摩半島に残されたニホンイシガメの生息地とその重要性. *Nature of Kagoshima* 44:1-3.